

事務事業 No./名称	■サービス部門 景観-12 □支援部門 海浜保全事業				タイムスコード及び個別事業名	
					1315	海浜保全事業
主管課	公園海浜課		関連課		経営企画課・総合防災課・環境保全課・観光課	
分野名	みどり					
目標 (目標値)						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	898千円	873千円			
	(国・県)					
	(負担金等)					
	(一般財源)	898千円	873千円			
	人員配置数	1.2人	1.2人			
	人件費	10,843千円	11,280千円			
	協働の パートナー					
事務事業 運営経費	総事業費	11,741千円	12,153千円	20年度		
	市民1人当 りの経費	66円	69円	21年度		
	対象者1人 当りの経費			22年度		
				23年度		
ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ○鎌倉海・浜のルールブックの周知・啓発に加え、救助者からのサイン等のマリンスポーツにおける共通 ルールの周知についても、関係諸機関や協力団体との連携強化に引き続き努める必要がある。 ○浜辺の侵食対策については、県及び相模湾沿岸市町と連携を図る必要がある。 ○深夜花火パトロールについては、公共の管理者が行うこととなっているが、海岸管理者が県であること から公園海浜課が対応しているため、業務量の増大が継続しての課題となっている。また、県迷惑条例の 改正に伴い、警察とも連携して深夜花火防止対策を進めていく必要がある。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ○鎌倉海・浜のルールブック及び、共通ルールの周知等に向けて関係諸機関との連携協力等を行った。 ○侵食対策については、神奈川県と相模湾沿岸市町の首長等で構成される「なぎさづくり促進協議会」等 において、国への要望を行うとともに、引き続き検討を行った。 ○深夜花火パトロールについては、地元住民と対応策についての協議を行い、関係諸機関の協力体制の 充実を図った。				
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ○本業務は庁内だけでなく、関係機関との調整が多いが、事務の範囲が明確になっていない部分がある。				
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ○引き続き、鎌倉海・浜のルールブック及び、マリンスポーツにおける共通ルールの周知に努めていく。 ○花火条例については、条例担当課での対応を図ってもらいたい。 ○深夜花火パトロールについては、迷惑防止条例の施行に伴って、警察署を主体とした体制を整えること も必要と考える。				
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	○鎌倉海・浜のルールブックの周知・啓発のための活動を行うとともに、海浜利用のルールが守られるように関係諸機関との協力体制を整備し、運用の定着を図る。		評価結果	改善の必要性	○本事業については、海・浜に関する団体や住民等との協働、関係機関等とも連携して事業を推進する必要がある。事務分掌の整理とともに機構改革において、より良い組織のあり方について検討する必要がある。
C	有			C	有	
課長名	公園海浜課長代理:石山 由夫			部名・部長名	景観部長 土屋 志郎	